

Rotary



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022～2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー  
創造しよう、これからのクラブ』



イマジン  
ロータリー

会長 高 畠 裕  
幹事 車 田 裕 介



2022-23年度国際ロータリーテーマ

## 第1733回例会

令和4年10月27日(18:30～19:30)

○ソング

●我等の生業

○ビジター

佐藤正道ガバナー 佐藤日出夫地区幹事 郡部仁喜県南分区ガバナー補佐 味戸雄二郎県南分区幹事

○スマイルBOX

- 石川RC 三瓶充雄様(白河西RCの皆様こんばんわ!石川RCの三瓶です。三瓶微君が在籍中は大変お世話になりました。)
- 郡部仁喜県南分区ガバナー補佐 郡部仁喜様・味戸雄二郎 県南分区幹事様(今日はお世話になります。今後共よろしくお願ひいたします。一緒にガンバッテ行きましょう。ニコニコ!)
- 喜多方RC 佐藤日出夫 地区幹事様(いつも大変お世話になっております。本日はよろしくお願ひ申し上げます。)
- 高畠裕会長(佐藤正道ガバナー、佐藤日出夫地区幹事、郡部仁喜県南分区ガバナー補佐、本日はようこそおいでくださいました。また、佐藤ガバナーにおかれましては貴重な卓話をありがとうございました。)
- 十文字光伸会員(佐藤正道ガバナー、公式訪問ありがとうございました。また、先日は結婚記念日祝いのプレゼントありがとうございました。)
- 池田浩章会員(佐藤正道ガバナー様、味戸幹事、郡部ガバナー補佐、ようこそ。遅くなりましたが結婚記念日お祝ひありがとうございました。)
- 金田昇会員(佐藤正道ガバナー、佐藤地区幹事様、県南分区ガバナー補佐郡部様、分区各クラブの皆様ようこそ。有意義な公式訪問でした。)
- 居川孝男会員(佐藤正道ガバナー、佐藤日出夫地区幹事、郡部ガバナー補佐、本日は白河西RCへの訪問ありがとうございました。22日に初孫が生まれました。おじいちゃんになりましたので今後は節制したいと思います。)
- 中目公英会員(佐藤正道ガバナー、佐藤日出夫地区幹事、郡部仁喜県南分区ガバナー補佐の皆様、クラブ協議会では貴重なご指導をいただきありがとうございました。白河西RCへの公式訪問ようこそ。)
- 鈴木孝幸会員(佐藤正道ガバナー、佐藤地区幹事、郡部ガバナー補佐、本日は訪問いただきありがとうございました。)
- 成井正之会員(佐藤正道ガバナー様、クラブ協議会、講師大変ありがとうございました。課題を真摯に受け止め、良いクラブになれるよう仲間と努力していきたいと思ひます。)
- 山口治会員(佐藤正道ガバナー、本日は白河西RCへお越しいただき誠にありがとうございます。また、県南分区ロータリアンの皆さんようこそ。)
- 関谷亮一会員(ガバナー公式訪問ありがとうございます。佐藤正道ガバナーの益々のご活躍をお祈り申し上げます。)
- 永野文雄会員(ガバナー公式訪問ありがとうございます。大変勉強になりました。)
- 宮本多可夫会員(本日は佐藤ガバナー、佐藤地区幹事、郡部ガバナー補佐、ようこそ白河西へ。ご指導に感謝申し上げます。)
- 吉田充会員(佐藤ガバナー、本日は卓話ありがとうございました。)
- 前原俊治会員(第2530地区佐藤ガバナーご来訪、ありがとうございます。)
- 矢田部錦四郎会員(佐藤ガバナー、佐藤幹事ご苦勞様です。本日はご指導ありがとうございました。)
- 富永章会員(佐藤ガバナー、ようこそ白河西RCへ。ご指導よろしくお願ひいたします。)
- 村上堅二会員(佐藤ガバナー、本日はありがとうございました。大変勉強になりました。)
- 堀田一彦会員(佐藤ガバナー、佐藤地区幹事、郡部県南分区ガバナー補佐、ようこそ。卓話ありがとうございました。)
- 大住由香里会員(佐藤ガバナー、そして佐藤幹事、郡部県南分区ガバナー補佐、本日はありがとうございました。)
- 運天直人会員(本日は佐藤ガバナーはじめ、クラブ協議会の皆様お疲れ様でした。本年の心構えを教えてください、一年進んで参ります。)

▶第1733回例会出席状況 (R4年10月27日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	66名
Ⓒ ①の出席者数	26名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	4名
Ⓔ ②の出席者数	13名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	43名
Ⓕ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	65
Ⓖ = ⑥ / ⑦ × 100 (例会出席率)	66.1%

▶例会日: 第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

# 本日のプログラム

## ■会長の時間

高島裕会長



皆さん、こんばんは。本日も、多くの会員の方にご出席をいただきましてありがとうございます。今日はガバナー公式訪問ということで、佐藤正道ガバナーにおいでいただいております。まず、佐藤正道ガバナー、本日はどうぞよろしくお願いいたします。それから、地区幹事であります佐藤日出夫様、本日はようこそおいでくださいました。また、県南分区ガバナー補佐、群部仁喜様、本日はようこそおいでくださいました。我々会長・幹事は午後三時半より、ガバナーそして地区幹事と一緒に会長幹事会を開催させていただきました。ご意見をいただいた上に、素晴らしい的確なご指導もいただきました。クラブ活動に反映させてまいりたいと思います。そして、少し前に終わりましたクラブ協議会、大変充実した内容でございました。本当にここでもガバナーよりの的確なご意見をいただきまして、新たにクラブ活動を再開できるよう、心一つにしていきたく思っております。またこの後、佐藤ガバナーにおきましては講和をいただきますので、皆さん大変為になるお話だと思いますので、快く聞いていただければと思います。また、例会終了後には、県南分区のガバナー歓迎会ということで、ご来賓の皆さんも含めて懇談を深めてまいります。今日は、この後ガバナーのお話もありますし、盛沢山でございますので、会長の時間この辺で短めに終わりにしたいと思います。本日のご参加、本当にありがとうございます。

## ■幹事報告

車田裕介幹事

- 寺島智輝：「知ることは愛の始まり」DVD送付と講演会依頼
- 白河市長 鈴木和夫：”冬期街頭献血キャンペーン”への協力について
- 福島民報社：「国際ロータリー第2530地区地区大会」特集広告ご協賛のお願い
- 2022-23年度月信委員会委員長 五十嵐健展、副委員長 小熊幸司：2022-23年度ガバナー月信12月号掲載クラブ会長方針原稿依頼について
- ロータリー米山記念奨学会理事長 若林紀男、事務局長 柚木裕子：感謝状（礼状）及び法人申告用領収書送付の件
- ガバナー 佐藤正道、地区研修リーダー 石黒秀司、地区・クラブ規定委員長 芳賀裕：「地区・クラブ規定委員会」セミナー開催について

## ■委員会報告

### ○青少年奉仕委員会

堀田一彦委員長



青少年奉仕委員会の堀田です。福島県南逗子葉山交流野球教室というものが、12月3日に逗子開成中学校のほうで行われます。白河西クラブは一応主催ということで、設営費のほうの賛助金を募集しております。もし賛助されてもいいという方がいらっしゃれば、今週の例会と来週の例会までに私のほうにお申し出いただければと思います。賛助金のお礼として感謝状と、一応領収証のほうは県南クラブのほうで出すということなので、是非ともよろしくお願い致します。

### ○職業奉仕委員会

金田昇副委員長



こんばんは。職業奉仕委員会から、お礼も含めてご案内いたします。来たる29日、次の土曜日に「ユラックス熱海」におきまして、地区の職業奉仕セミナーが開催されます。ご案内しましたところ、当クラブから9名の参加をいただけることになりました。ご協力ありがとうございます。と同時に、講演会の内容に関しましては、通常の講演会というかセミナーの中では講演会だけではなく、今年度の佐藤正道ガバナーのご意向にもよりますが、R L I方式でのディスカッションなど多数組み込むということで、これからのいろいろなセミナー開催されると思います。わたくしも地区の研修委員会のほうに参加しておりますので、皆様に沢山ご連絡申し上げますので、是非とも参加し、またいろいろな各クラブの方々とディスカッションも深めていただけることをご案内申し上げます。29日行ってきた後に、またご報告できることを楽しみにしております。

## 米山功労者の表彰



米山功労者第5回マルチプル  
白河西ロータリークラブ  
永野文雄殿



米山功労者第3回マルチプル  
白河西ロータリークラブ  
金田昇殿



米山功労者第1回  
白河西ロータリークラブ  
成井正之殿



米山功労者第1回  
白河西ロータリークラブ  
山口治殿

## ■本日のプログラム

## ガバナー公式訪問

○2022-2023年度国際ロータリー第2530地区ガバナー

佐藤正道様



どうもおぼんでございます。今日は公式訪問ということで、このような素晴らしい会場設営していただきまして誠にありがとうございます。今程はご寄付の表彰があったわけですが、本当にご理解いただきありがとうございます。

先程、クラブ協議会でも申し上げましたが、60クラブ目、白河西さんでございまして、この公式訪問のガバナー業務の一つに定款細則をチェック、確認するということがございまして、今回は白河西クラブさんに私も拝見させていただいたんですが、指摘するところがない程、しっかりと細則のほうも整理をされておられたということで、さすがビジョン委員会さんのほうでしっかりこれを皆さんで読み込んで、適正なものを作られてるなと感じた次第でございます。そしてまた、このコロナ禍において会員数も減らしているクラブも多い中、会員数を増やし、それもまた若い方が大勢このクラブに入会していただいているということでございまして、私も楽しみにして参った次第でございます。

今日は、若干お時間いただきましてお話をさせていただきますが、内容的にはR I会長のテーマでございます「イマジジンロータリー」について。そしてまた地区の方針、これも両方とも皆さん既にご存じかと思えます。ですが、改めて私のほうから説明をさせていただきたいと思えます。そして、最後にクラブ活性化に向けてロータリーの現状。そして、白河西クラブさんの現況をちょっと拝見していただいて、今後クラブをどういったほうに持ってっていいのかという参考になればというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。これ、6月に開催されましたヒューストンの国際大会でございますが、国際大会の最後のほうに、R I会長エレクトのセッションがございまして、最後まで残ったのがこの4人のガバナーエレクト、我々同期4人でございました。真ん中にジェニファーさん。そして、右にはご主人。左には、財団管理委員長ということで、4人の我々同期しか残らなかったわけですが、本当であれば30人揃うわけですが。この国際大会、一万一千名の登録がございました。本会議も満席状態。ただし、マスクをしてるのは私たち日本人、台湾人、あと現地のスタッフくらいでございまして、あとはみんなマスクを着けておりませんでした。もう既に、世界はマスクなしでの活動してるんだなということを感じました。逆にこっちは怖かったんですが、何とか感染することもなく無事に帰っ

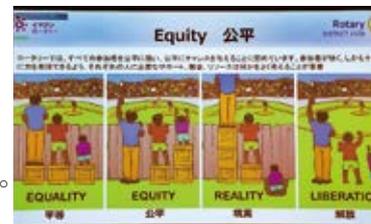


てくることができました。先程、定款細則の話をしました。定款にはこういう事が載っております。会長になる要件です。クラブの会長になる要件。P E T Sおよび地区研修協議会に参加したことがある者ということが、クラブの会長になる要件でございます。しかし、これに合わせて2004年の理事会において決定されたんですが、これがロータリー章典に載っています。定款に定める会合に加え、以下のものに参加した者ということになっておりまして、そこには少なくとも一回は国際大会および地区大会に参加したことがある者というふうに載っております。ということで、本来であれば国際大会に参加しないとクラブの会長になれないという、推奨になってるものですが義務ではないんですが、望ましいということでございまして、是非とも来年のメルボルン大会、多くの皆様にご参加いただければと思います。よろしくお願ひします。このジェニファーさんのテーマ、講演があったわけですが、年齢幾つだかご存じの方おられますか。ジェニファーさん、現在55歳でございます。実は、彼女は39歳の時にガバナーを務めておられます。その当時、若く、そしてまた女性でもあるということで、世界中から引っ張りだこでした。うちの所へ来て是非ともスピーチをしていただきたいということで、彼女は飛行機に乗って世界中を飛び回っておられました。そんな時に、国際競技会からのオファーが来しました。国際協議会といいますのは、世界中のガバナーエレクトが一堂に会して研修をする場でございます。アメリカにおいて1月中旬に開催されます。大体その国際競技会でスピーチをするのは、いつもはR I会長経験者がほとんどなんですが、その中でこのジェニファーさんが選ばれてスピーチをするということで、ちょっと異例だったのかなと思えます。そんなオファーを受けた時に彼女は42歳でした。その年に彼女はがんを患うこととなります。乳がんでした。8回の化学療法、21回の放射線療法を受けることになるわけですが、その間、髪の毛はすべて抜け、頬はこけ、そして命も危うい時もあったそうでございます。後に、彼女は言っております。人生最悪の時であったと。そんな失意のどん底の彼女のもとへ、一本の電話がかかってまいりました。国際競技会の主催者であるR I会長エレクトからでございます。ジェニファーさん、お体の具合はいかがですか。もし、可能であれば是非とも国際競技会においでください。スピーチをいただきたいというお話でございました。この電話をもらった時、ジェニファーさんは涙を流して感激したそうです。こんな私でも必要としてくれるロータリーだ。私はロータリーに生かされている。彼女は喜んで頭にウィッグを被って、飛行機に乗って国際競技会でスピーチをしたそうでございます。その時の経験から、この度「イマジジンロータリー」のテーマと共に彼女が強く前面に打ち出しましたのはD E Iですね。このD E Iでございますが、私も地区の委員会にD E I委員会を作りました。そうしたところが、地区の役員の皆様、そしてク

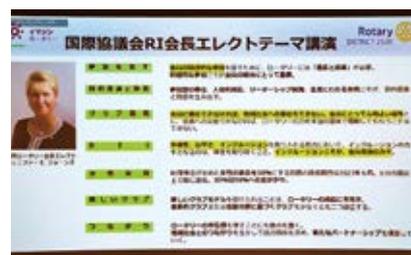


クラブの会員の方から、またなんか訳のわからないものを持ってきてということで小言をいただいたんですが。ただ、このD E Iですが、これは決してロータリー用語ではございません。多分、この考え方を取り入れたのは、一番早いのはアマゾンではないのかなと思います。グローバル企業、多国籍企業がこのD E Iを取り入れています。D=ダイバーシティ、多様性。E=エクイティ、公平さ。そして、I=インクルージョン。以前はこのインクルージョン、公設性という日本語訳だったと思いますが、ちょっと意味が余計わかりにくいということで、現在はインクルージョンということで使っております。多国籍企業が世界戦略をするにあたって、世界中から優秀な人材を集めなければいけません。その為に、男女だったり宗教だったり思想とか、そんなことも区別してるわけにいかないんです。とにかく世界中から優秀な人材を集めてこなければいけません。そのために、多様性が必要となってきます。そして、集まってきた方々を公平に扱わなければ、その組織から去って行ってしまいます。その為にエクイティ。さらに、その来た方々が私はこの組織に歓迎されている。そして、あなたはこの組織にとって必要なんですよ、と誘われた方が、その組織に対する帰属意識を持ってもらう。これがインクルージョンでございます。この3つをもって社員の方を囲い込んで世界戦略を練っていくということでございまして、この考え方は欧米を中心に世界各国で取り入れておられます。日本においてもこの考え方を取り入れたら、また研修されてるところも多くあると思います。わたくしのクラブの会員の中に、外食産業のフランチャイズをしてるところの会員がおるわけなんです。そこでもこのD E Iの研修をもうやっております、これを取り入れていくというような事をされています。最近、働き手がなかなか集まらないというようなところもあります。そういった中において、このD E Iを取り入れることによって、より多くの方がその企業に対して参集してくれるのではないかと思います。是非、このD E Iをロータリーで学んでいただいて、それぞれの会社で生かしていただければというふうに思います。そして、ジェニファーさんはクラブ環境についても仰っておられます。会員にとって、心地よい場所としてのクラブを構築してください。会員に奉仕できなければ、地域社会の奉仕なんてとんでもないということでございます。さらに、女性会員についても仰っておられます。R I理事会が女性の加入率を30%にする目標を立てております。これは今年度末、6月30日まででございますが、現在世界の女性の加入率25パーセントでございます。昨年度は24%、その前は23%ということで、一年に1%づ

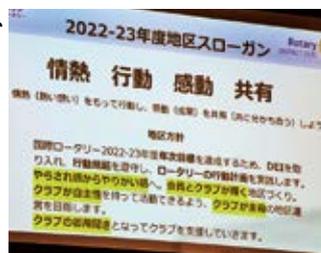
つしか上がっておりません。なんか目標にちょっと遠いのかなというふうには思うんですが、この足を引っ張ってるのは日本でございます。日本は世界で3番目に会員数が多いにも拘わらず、最下位モナコの1クラブ、男性100%。次は、マント、R I B I、イングランドなんです。ここは4クラブですね。その次はモーリタニア、1クラブ。次が日本です。下からですよ、下から。ですから、日本の下には6クラブしかないんです、世界の中で。3つの地域、6クラブしかない。ですから、実質日本は最下位みたいなものです、女性の加入率。日本は7%でございます。日本が足を引っ張ってるのではないのかなというふうに思います。白河西クラブさんも20%を目指すということでございまして、是非頑張ってくださいと思います。D E Iの中においてエクイティというのがございます。私たちはこのエクイティ、公平ということをやっとはき違えてはいないかということで、確認をさせていただきたいと思っております。一番左側、ご覧になっていただきたいと思っております。私たちは平等と公平を同じものだと認識してないでしょうか。平等、Equalityでございます。それぞれすべての方に同じ下駄を履かせる。これはあくまで平等ということでございまして、この考えですと、それぞれ体格の違う3人の方が同じ機会、チャンスを与えることができないんです。一番背の低い方には、試合を見るという機会を与えることはできないんです。しかしながら、余りある方から足りない方へ下駄を履かせてやることによって、この3人が同じチャンス、機会を与えることができるということでございまして。ですから、下駄の多さ少なさ変わるけれども同じチャンスを与えることができるということで、公平さということでございまして。この絵には現実はいこうですよ。さらに進んでこの壁を取っ払ってしまうという考え方もあるわけでございますが、この平等と公平の違い、是非これを頭に入れておいていただければというふうに思います。テーマの講演の中にもございました、私たちがベストを尽くせるその世界に変化をもたらした次の姿をイマジンしましょうということで、テーマの発表があるわけでございますが、テーマの意味です。もうご存じかと思っております。真ん中の丸は繋がる。そして周りの7つの点、これはロータリー財団の7つの重点分野でございます。そして、下にある緑色の横の棒です。これはオーストラリアのアボリジニが持っている杖のような土を掘り起こす棒。これをイメージしたそうございまして、来年の国際大会はオーストラリアのメルボルンということで、昨年度からもうジェニファーさんは自分の年度のメルボルンでの国際大会があるということを見通して、このテーマを考えられたということでございまして、色にも意味がございまして、エンジはポリオ、グリーンは環境、そしてベース



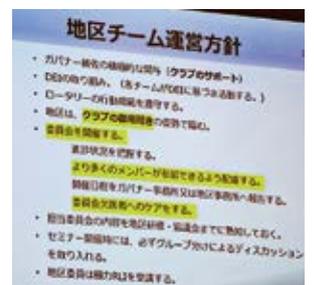
の白は平和ということで、この3つの色は女性解放運動の色ともいわれておりまして、女性初のR I会長となりましたジェニファーさんにとってはふさわしいテーマなのかなというふうに思っています。国際ロータリーの年次目標です。この優先事項1、2、3、4は変わっておりません。ただし、4番目の適応力を高めるというところに対して、第一項目バーチャルでの繋がり活用の支援ということが追加になっております。私たちはこの2年半、コロナに苦しめられてきました。失うものも多かったです。友好を深めるということで対面での会合をすることができませんでした。でも、なくしたもののばかりではなく、私たちはその代わりにオンラインツールというものを手にすることができました。これを活用することによって、バーチャルでの会合というものを得ることができました。これを有効に活用していきましょうということでございます。この年度始まった時にですね、あるロータリークラブのホームページを拝見しました。そこの例会にはなんとですね、ホルガー・クナークR I元会長、2年前の会長がゲストスピーカーで参加してたんです。そのようにですね、すぐに世界と瞬時に繋がることのできるんです。是非、白河西クラブさんもチャレンジしてみてください。今はジェニファーさん忙しいですから、来年になるとジェニファーさん暇になると思いますので、是非ジェニファーさんを招いてハイブリット例会されてますので、オンラインでジェニファーさんのゲストスピーチを聞いてみたらどうでしょうか。呼ぶのは簡単です。彼女にメールを送れば、時間が空けば必ずゲストスピーカーとして参加していただけたと思います。是非、お試しいただきたいと思っております。このR Iの方針を受けまして、地区のスローガンでございます。「情熱 行動 感動 共有」ということです。方針といたしましては、特にこの「やらされ感からやりがい感へ」です。昨年度、シェカール・メータR I会長は仰いました。ここ20年変わってない120万の会員を130万人にするんだというお話でございました。そうしますと8%です。そのために、



世界各国のガバナーは地区の目標を8%上乗せしたわけです。当地区の志賀直前ガバナーも同様だったと思います。8%増強。そして、それをクラブさんに通達したんじゃないでしょうか。望む望まないに関わらず、8%に増強した目標を設定された。これは昨年度ばかりではございません。R Iはガバナーに対して、地区の増強目標を報告することを求めてきています。ですけど、やはりこういったや

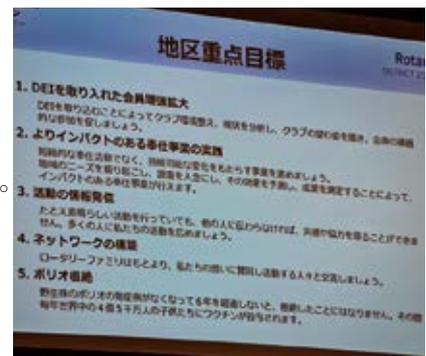


らされ感、それではなくて、それぞれのクラブの皆さんがやりがい感を持って臨んでほしいということで、今年度につきましては会長さんそれぞれがエレクトの時、それぞれのクラブの目標人数を設定していただき、それを提出して合計として私は報告させていただきました。63人の会長エレクトさんの会員増強目標の合計値2441名。これを是非クラブさんをサポートしながら、地区はクラブの御用聞きとなってサポートしていきたいというふうに思っております。あくまでクラブが主役ですね。クラブが自信を持って元気に活動できるような環境を作っていきたいと思っております。重点目標です。先程申しあげましたとおり、DEIを取り入れた会員増強。企業、組織、そしてまた私たちのロータリーも一緒だと思います。やはり、会員を増強していかなきゃいけないということでございます。それには、クラブ環境を整え、現状会員の皆さんが何を求めているのかということを是非分析する。そして、クラブの望むべき姿を描いて、それに向かって行動するということです。そして、二番目。よりインパクトのある奉仕事業の実践でございます。最近、特にロータリー財団が厳しくなってきました。このグローバル補助金に対するものの考え方が非常に変わりました。やりっぱなしではいけません。やったことの成果を必ず測定してくださいということを強く言っております。もう既に、現在申請が受理されて実行された事業に対しても同様に精査をされています。私たちはやりっぱなし、自己満足ではいけない。それを私たちがやった行動が事業がどういうふうに地域に生かされ、それが成果として結びついてるのか。それをしっかりとのはかる、測定することが必要だというふうに言われています。それから、ポリオ根絶でございます。皆さんもご存じのとおり、野生株のポリオが現在、世界に二か国になりました。アフガニスタン、パキスタンです。このポリオのワクチンでございますが、ご存じだと思いますが口から入れる生ワクチン、経口ワクチンというのがございます。それと合わせて、日本でも行われています子供さんに注射ですね。四種混合、この中にポリオワクチンも入ってるわけでございます。この日本がやってるようなワクチン、これは不活化ワクチンと言われてまして、これはワクチン代が高い注射器の使用、そして医師、看護師が必要となってくるということで、このワクチンを投与するにはそれ相応の費用がかかります。そのために、世界39か国においては自費においてこのワクチンを供給できない国に対し、WHOはじめ我々ロータリーが支えてるわけでございますが、そういった所へ提供するのには先程申しあげた経口ワクチン、生ワクチンなんです。じゃあ、世界中この生ワクチンにしてしまえばいいということなんですが、実は中身が大きく違います。生ワク



チンと言ってるように、そのワクチンの中には弱毒したポリオ菌が入ってるんです。それを口から入れることによって、お腹の中で活性化させて、そして抗体を作るというようなこととございます。当然、活性化してますので排便するとその中に混じるわけとございます。混じったものが上水道に回って、このワクチンによるポリオの患者が発生してしまうこととございます。これをワクチン由来のポリオということで、現在世界に28か国、ワクチン由来のポリオが蔓延してるというようなこととございます。皆様もニュース等でご覧になった方もおられるかと思いますが実は今年の7月、アメリカのニューヨーク州におきまして、このワクチン由来のポリオの症例が発生しました。若い男性だったんですが、その為ニューヨーク州においては下水道の調査をしたんです。そしたらなんと、下水道からポリオ菌が発見されました。その為今、ニューヨーク州ではポリオの緊急事態宣言が出ております。同様に、ヨーロッパ、イギリスにおいても同じような症例が出てくるということで、ポリオに対する警戒感が高まっています。それでは、どうしてこういう先進国にもこんなポリオが発症してしまったのかということとございますが、ポリオの症例が抑えられているものから、各国においてこのワクチンを投与されない方が増えてきたんです。そのために、ワクチン由来の常在国の方がお腹に持ったまま移動して、それが下水に流れ浄水に回り感染したというふうに考えられてるわけとございます。ですから、決して我々も全然違う遠い国の話ではなく、こういった菌が世界中を飛び交うというような状況とございます。ですから、ワクチンというのは非常に重要だということ。ただ、この日本におきましてもこの生ワクチンが使われていたんです、つい最近まで。2011年、震災の時まで日本においてこの生ワクチンが使われておりました。そのために、このワクチン由来の患者が日本にも200名程おられます。私よりも若い方でこのポリオに罹患しておられる方がおられるんです。ちなみに、2770地区のバスターガバナーですね、小林操さんというバスターガバナーなんですが、彼もワクチン由来のポリオに感染されておられまして、その体験等もお話に聞けるとお思いますので、もしクラブにおいてゲスト卓話の依頼されるようでしたら、お使いいただければというふうに思います。ですから、このポリオは決して遠い国、昔の話ではなく、私たちの身近なものになっております。是非、これを根絶するための活動というのを、皆さんご理解とご協力をお願いしたいと思っております。分野別目標ですが、これは地区のホームページにもございますので、是非ご覧になっていただきたいと思っております。それから、ロータリーなんでも相談室、これもいろいろご意見ご質問お寄せください。地区チーム運営方針とございます。委員会を開催すると当たり前の事が書いてありますが、地区における委員会ですが、いくつもあるんですが、実際のところ委員会として機能してるのはごく僅かでございます。ほとんどが委員長、副委員長、

はたまた事務局とか、良くて3名で運営してる状況でございます。委員の方はどちらかというとお客様の存在になってしまいます。これでは委員会が活性化しないということで、今年度極力、事務局を廃止、委員会の中ですべてを完結するような形をとるということを進めています。地区の委員の方からは非常に批判を受けていますが、続けていきたいというふうに思っております。あとセミナーにおいては先程、金田昇研修委員が仰っておられましたが、必ずグループによるディスカッション、これを採用していくということとございます。ここからですが、世界会員数の推移です。120万で変わりません。ですけども、中身を見ますと変わりはなかったんですが女性会員が穴を埋めてたんです。男性会員のままですと、減り続けるんです。女性会員が埋めていたんです。もうこの答えは出ています。世界においても、女性会員を入れなければ確実にロータリーは減ってしまうんです。日本はどうでしょうか。7%です。これが30%になると、日本が目的としている10万5千人をクリアすることができます。そうすると、ゾーン1、2、3と3つを確保することができるんです。当地区はどうでしょうか。現在の加入率25%にすると、この左端の20年前のデータに並ぶことができます。私たちと同じような活動をしているクラブにライオンズクラブがございまして、県南地区においては、298名のライオンズがいて、そしてロータリアンは263名とございます。県南地域における数は、ライオンズのほうが多いです。これ全国のデータ、今から25年前。オレンジはライオンズ、グレーはロータリーです。ライオンズが多いんですが、2019年並んで逆転するんです。ところが、オレンジが途中からブルーラインが出ています。これはライオンズが会員を減らすために、家族会員制度を設けたんです。家族会員を足すと、まだライオンズが多いですね。福島県とございます。25年前、変わらないんです。ところが、差が開いてきました。ライオンズぐっと減ってきました。家族会員を導入しましたらライオンズ、ロータリーに抜かれました。ですけど、2022年並んだんです。7月に並びました。そして、今10月です。この先どうなるかといいますが、この2か月間で逆転しました。今はロータリーの会員のほうが多いです。福島県におけるライオンズクラブの会員は家族会員を足しても、我々ロータリーより少ないんです。良かったですね。ですけど、今このライオンズクラブは会員を減らし、そしてクラブもどんどん減っていく中において、彼らは彼らの掲示板の中で話をしています。どうして我々はこんなに会員を減らすんだと。彼らの掲示板の中で話し合った中の一つの



答えです。我々は毎年毎年、同じ事業。そして、その事業にかかるのも同じ人間ばかり。新しい会員が入ってきても居場所がない、関わらない。だから会員を減らすんだ。と彼らは言うております。私たちはどうだったでしょうか。DEIですね。会員にとって心地よい環境を作るロータリーです。きっと、この差はどんどん開いていくのかなと思います。クラブの会員規模でございます。20名未満が四分の一になりました。38人未満が、60%を超えました。ということで、会員の高齢化、そして費用の負担ですね。会員が減りますと、一人当たりの固定費の負担が増えます。そのために、会員減少に拍車がかかるということでございます。西クラブさんは一番多いところですね。60人以上のところでございます。西クラブさんの会員数の推移、20年前からのデータ取ってまいりました。20年前から男女の別をとったものですから、どちらかという右肩上がりですね。素晴らしいと思います。ちょっと年齢構成見ました。一番左端、30歳未満、右端90オーバーでございまして、5歳刻みで会員数をグラフにしております。赤い点があります。これをセンターとした場合、これを天秤としたらどっちに傾くかなですね。西クラブさんは若いほうに傾きますよね。素晴らしいです。じゃあ、他のクラブと比較してみましょう。A、Bクラブご覧になっていただきたいと思います。A、Bクラブ共に会員基盤は安定しています。同じように天秤にかけたら、やっぱり若いほうに傾きますよね。このA、Bクラブ、実は創立70年を超える老舗クラブでございまして、老舗クラブといいますと長老の方がいっぱい沢山いて、クラブをこう牛耳ってるといいますか、ああしてるような雰囲気があると思いますが全然違うんです。私もクラブを訪問させていただいた時に感じたのは、すべてクラブ協議会とか委員長、副委員長さん、みんな若い人ばかりなんです。もう世代交代が済んでるんですね。じゃあ、こちらC、Dクラブ、ご覧になっていただきたいと思います。Cクラブ、最近若い方が非常に増えて会員数も倍増しています。ご覧になっていただくとわかるんですが、若いほうの世代を中心に会員増強が進みました。この若い世代の方が、横の関わりでどんどん若い人を連れてくるんです。そのために、会員がどんどん増えていっております。白河西さんも、同様な形のスタイルになってますね。Dクラブ、どうでしょうか。Dクラブ、天秤が年配のほうに傾いてしまいます。このクラブ、つい最近まで58名いた会員数が50名になり、現在47名です。このクラブを訪問した時に言いました。今、手を打たないと大変なことになるよと。3年以内に40人を割るでしょうという話をしました。何でそんな事を言うんだと怒られたんですが。実は、この状態を放置したために大幅な会員減少に見舞われたクラブを私は知っているんです。という話をしました。そのクラブは、実は私が所属する喜多方ロータリークラブでした。この状態を放置したんです。そのために、健康の理由で一人二人減り、そうしますと雪崩を打ったように会員数が減って

いったんです。ですから、このクラブに対してはそういう話をさせていただきました。マイロータリーの登録状況です。若干、新しい会員の方が何名かまだ登録されておられません。マイロータリーのこれはですね、是非有効に活用していただきたいんです。先程、クラブ協議会でも申しあげました。ラーニングセンターの活用でございます。様々なプログラムがございまして、ロータリーを学ぶには最適でございます。新しい会員の方、ベテランの会員の方にとっても、本当に目からうろこの素晴らしい内容が記載されております。これを会員増強についてのプログラム。これはリーダーシップについてのプログラム。ちょっと見ずらいかもしれませんが、あとは個人スキルです。中にはですね、クラブの中で争いがあった。この二人の争いをどうやったら仲裁することができるかというようなプログラムもあつたりします。是非、一度お試しいただきたいというふうに思います。あと、財団の一人当たりの寄付額でございまして、ちょっと頑張っていたきたいなど。県南分区のリーダークラブとして、是非ロータリー賞取っていただいて、クラブ活動の励みにしていただければというふうに思います。ということで、つたない話ではございましたが、今年一年間、クラブ御用聞きとなって皆さんの活動をサポートしてまいりたいと思います。まだまだ、これから残り長いです。是非とも、今後ともご理解とご協力、よろしく願います。今日はどうもありがとうございました。



#### 高島裕会長

佐藤ガバナー、貴重なお話ありがとうございました。国際ロータリーの方針から、地区の方針、そして目標。あるいは、我々が知らないような、逆に我々のクラブのことまで細かく調べていただきまして、本当にありがとうございます。今いただいたお話をもとに我々もガバナーが仰ったように、県南のリーダークラブとして益々精進していけるように努力してまいる所存でございます。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

それから、会員の皆さんに一点ご報告がございます。佐藤正道ガバナーよりですね、クラブのほうに多くのご奉仕を頂戴しておりますので、この場を借りてご報告させていただきます。ガバナー、ありがとうございました。



# 佐藤正道ガバナー歓迎会 19:30 ~



乾杯

